



審判として行うこと

1. 試合開始前（グラウンドへ入る前）
 - ・グラウンドチェック（各ライン、ゴールネット、コーナーフラッグ etc.）
 - ・メンバーチェック（役員・選手：登録済、名前、本人？）
 - ・用具チェック（付けるべき用具、付けてはいけない物）
 - ・打ち合わせ（ゴールイン、オフサイド、ファウルサポート etc.）
2. 試合開始前（グラウンドへ入ってから）
 - ・コイントス（ジャンケンはNG）
 - ・選手の数
 - ・周囲の状況（本部、ベンチ：人数・服装、他）※副審は何を確認してOKの合図を送る？
3. 試合開始後
 - ☆主審の役割（第5条）
 - ・競技規則の励行、タイムキーパー、競技の停止・中断・中止 etc.
 - ・対角線式審判法（なぜ？）
 - ☆副審の役割（第6条）
 - ・ボールがフィールド外に出たときの合図、オフサイドの合図 etc.※オフサイドの判定（ラインキープ、wait&see）、得点の判定
4. より良い判定のため
 - ・より近くで、良い角度で※選手との信頼関係の構築（適度なコミュニケーション）
お互いをリスペクト（「尊敬し、敬意を表す」、大切に思うこと）



審判として知っておくべきこと

1. 審判の目的

選手に 『安全に』『公平に』『楽しく』 サッカーをさせること

2. 競技規則（いわゆる『ルールブック』）

審判の基準となるもの

☆審判の意志で変えられる部分はない

例) アンダーパンツの色が異なる……許す

→このレフリーは自分の裁量でどこまで競技規則を変える？

☆規則通り施行する……間違える：トラブルの元

・インプレーのタイミング（前へ移動、PA の外 etc）

・距離（2 m以上、10ヤード以上）……離す義務（守らない：懲戒罰）

・再開の方法（違反のあった位置、ボールのあった位置 etc.）

3. ファウルと懲戒罰（第12条）

ファウル：直接FKとなる10項目は取る・取らないではない

→笛を吹く（ファウル）か、アドバンテージの適用

警告・退場に該当する場合は、カードを示し対応する

☆警告

・無謀な……相手選手の危険を考えず危険なプレーをする

※異議（言葉、態度）は早めに対処する（押さえる）

☆退場

・過剰な力で……必要な力以上で相手選手を危険にさらす

※報復行為は退場